

われら、森林づくりのプロフェッショナル

国東の林業を次世代につなぐ「国東森林組合」

平成3年に国見町・国東町・武蔵町・安岐町の4つの森林組合が合併して誕生した国東森林組合。合併30周年を迎えた昨年9月に、地域の林業の発展と組織の飛躍を願う「国東郡森林組合」から「国東森林組合」に名称を変更しました。「森林づくりのプロフェッショナル」として、国東の林業を次世代につなぐために日々活動しています。



提案型集約化施業の現場（安岐町朝来）。専門的な技術や機械を持つ森林組合が、山の所有者に代わって林業を行っています。1.木の切り倒し（伐倒）。危険な作業で、高い技術が必要です。2.造材機で木の枝払いや玉切り（一定の長さに切断）する作業を行います。3.運搬車で集積場所まで木材を選び出します。4.集積場所から市場や製材所に木材を出荷。5.伐採後は植林をして所有者に山をお返し（造林）。数十年後には森林がよみがえります。



国東森林組合
森林施業プランナー
栗原 正英 さん

山林所有者に代わって林業を行う

山の所有者に代わって林業を行い、その収益を還元する「提案型集約化施業」は、国東森林組合が力を入れている事業の一つ。同組合の栗原正英さんが、その必要性を説明してくれました。

「山の所有者の多くは林業を営む手段がなく、所有規模は零細です。また、木材価格も最盛期と比べて低迷しています。そこで、小規模な所有者を取りまとめて『森林組合が効率よく木の伐採や販売、造林などを行います』と提案をし、了承を得て林業を代行する。これが提案型集約化施業です。当組合には私を含め3人の『森林施業プランナー』

自然の中で働ける魅力的な林業の仕事

小坪篤史さんは、国東森林組合の森林整備センター班長です。高い作業技術を持ち、現場のリーダーを務めています。

「山が好きなので、自然の中の仕事は楽しいです。山が美しくなっていく姿を見ると、うれしくなりますね。最近では若い職員も多く入ってきたので、その指導もしています。彼らに負けないように、もっと技術を高めたいです」

があり、山の所有者に提案をしたり、ご相談に応じたりしています」

安心して森林の管理を託せる存在に

山の所有者が林業を営むことが難しくなった現代。森林組合として、ふるさとの森林を次世代につなぐ役割を担いたいと栗原さんは話します。

「林業は高齢化や後継者不足に直面していることから、森林組合への依頼は今後増加すると思っています。私たちは所有者が安心して森林の管理を託せる存在でなくてはなりません。知識や技術の向上に努め、地域の要望に応えられる組織でありたいと考えています」



小坪篤史さん（左）と室橋春樹さん（右）。「林業の仕事はとても楽しい」と笑顔で話してくれました。

室橋春樹さんは林業に興味を抱いて、神奈川県から大分県に移住しました。林業の魅力は次のように語ります。

「大分県の林業アカデミーで学び、国東森林組合に就職しました。仕事は朝明るくなれば始まり、日が暮れば終わる。山の空気も気持ちが良い。林業は人のリズムに合った仕事だと感じています。まったく林業の経験はありませんでしたが、転職してとても満足しています」

国東森林組合

（国東町小原） ☎ 72-3755

国東森林組合は、森林所有者が互いに助け合って林業を営むための団体です。組合員の発展はもとより、森林の造成、木材の供給、環境や水資源の保護など、ふるさと国東の自然を守るための活動を行っています。

- 組合長 林 孝（武蔵町三井寺）
- 職員数 22人
- 組合員数 2,740人
- 事業地域 国東市、姫島村
- 主な事業 森林の整備、林業の技術指導・普及啓発、木材の加工・販売 など

令和4年5月1日現在

施設内には加工所があり、木材や木工品、まきなどの販売も行っています。

